



甲斐市立玉幡小学校 学校だより 第9号

チーム玉幡

平成30年 8月27日(月)

校長 望月 和彦

2学期がスタートしました！

34日間の夏休みが終了しました。今年の夏は記録的な猛暑となり、全国的にも熱中症による救急搬送者数が例年を遙かに上回る数になったそうです。本校では、高温と大量に発生した藻のためプールを開設できない日が多くなってしまいました。楽しみにしていた子どもたちは、とても残念だったと思います。心配していた台風20号も大きな影響を及ぼさずにすんだので、8月24日には2学期始業式を行うことができました。全校児童の顔を見ると、日焼けした笑顔がたくさん見られ、校歌を元気いっぱい歌っている姿を見ると、充実した夏休みが送れたことが推測できました。私からは「一年間で最も長い学期です。運動会や様々な活動の中で、失敗を恐れずチャレンジ精神で自分の力を高めていってください」ということを伝えました。



始業式での代表者の発表

その後、2年生、4年生、6年生の代表者が、「夏休みの思い出と2学期がんばりたいこと」を発表してくれました。家族で遠くに出かけたことや珍しいものを見たり、体験したりしたこと、空手の全国大会に出場したことなどを聞かせてくれました。そして、2学期は「漢字をがんばりたい」「どんなことでも最後まであきらめないようにしたい」「運動会でキレイのピシッと決まるソーラン節をお父さん、お母さんに見せたい」「最後の運動会で悔いの残らないように練習や係の仕事がんばりたい」などの決意を発表してくれました。今回の3人も、7月20日に「1学期を振り返って」を発表してくれた1年生、3年生、5年生の3人も、話したいことを一生懸命伝えようという気持ちが感じられ、内容も学年に応じて素晴らしい内容でした。300人以上の大勢の前で発表するということは、緊張したり、恥ずかしかったりするものですが、6人も最後まで堂々と発表できたところが立派でした。学校生活の中では、子どもたちが自分の力を高めるチャンスがたくさんあります。様々な授業や学習活動の中で、運動会をはじめたくさんの行事の中で、学級活動や児童会活動の中で、清掃活動や係活動の中で…。子どもたち一人ひとりには、失敗を恐



始業式後の学級活動

れず、チャレンジ精神で自分の力を試し、伸ばしていってほしいと思います。

夏休み中のできごと

▶ サマースクール

7月23日(月)から26日(木)まで、「サマースクール」(夏休みの自主学習会)を午前と午後に分けて7回実施しました。毎回20人弱の児童が集まり、夏休みの宿題や自分の苦手な算数や国語などの学習に一生懸命取り組んでいました。毎回7~8人の教員がつく体制をとったので、児童はわからないところはすぐに教員に聞くことができ、とてもスムーズに学習できていました。延べ人数で96人の子どもたちがサマースクールに通ってきたこととなります。普段の授業ではたくさんの子がいるので難しいことですが、わからないところをそのままにせず、休み時間やちょっとした時間を利用して、すぐに先生や友だちに聞いて解決していく姿勢を身につけてほしいです。



マンツーマンのような学習会

▶ 夏休みのプール

今年度は 14 日間のプール開放を予定していましたが、実際に開放できた日は半分の 7 日間になってしまいました。理由は、ホームページや安心メールで連絡したとおり、前半は気温が 40℃に迫る記録的猛暑のため、後半は高温による藻の大量発生のためでした。プールが実施できた日には毎回 100 人前後の児童が集まり、水遊びをしたり、水泳の練習をしたり、大きな歓声が上がっていました。プール当番の職員以外に、6 年生の保護者と P T A 保健体育部の皆様には炎天下の中で子どもたちの監視をしていただきました。そのおかげで、子どもたちは安全にプールを楽しむことができました。ありがとうございました。



夏休みのプール

▶ 夏休みの図書館

図書館は夏休み中に 7 日間開館しました。本をじっくり読む時間がある夏休みは、読書好きの子たちにとっては読みたい本を一気に読める絶好の機会です。プールが中止になった日には、児童館からもたくさんの子たちが図書館に来て本を借りていきました。司書の小澤先生に聞いたところ、延べ人数で 331 人の児童が夏休み中に図書館を利用し、810 冊の本が貸し出されたそうです。本校の児童は、全国平均に比べ読書をする時間が少ないという結果が出ています。読書の秋に向けて、本を読む機会を増やしていきたいです。



図書室は学校のオアシス

▶ 学校の環境整備

夏休みを利用して、2 学期以降の学校生活をより快適にするために環境整備を行いました。子どもに直接関わるものだけをいくつか挙げてみましょう。①校舎内の廊下、教室に網戸を設置（虫刺されに弱い児童もいます）②普段の掃除ではできない廊下やトイレの清掃、ワックスがけ③黒板の塗り替え（一部の教室）④カーテンのクリーニング（部分的に）⑤ミシンの点検・修理⑥雑草や草木等を捨てる穴（古い穴が草木で一杯になってしまったところ、河野 P T A 会長さんが重機を使って新しい穴を掘ってくれました。）などです。そして、2 学期のプールの授業を実施するためには、大量の藻をなんとかしなければなりません。学校薬剤師に相談しながら薬剤を調整したり、内藤体育主任を中心とする若手職員が何日もプールに入り藻の除去作業をしたりしました。なかなか改善できず、8 月 21 日には全職員で藻の除去作業を行いました。



この夏のプールは藻との戦いでした

早朝環境整備作業ありがとうございました！



8 月 25 日（土）には、P T A 生活環境部主催の「早朝環境整備作業」が行われました。今年度から、保護者の方々に加えて、5・6 年生の児童も参加することになりました。一人でも安全に作業できる高学年の児童には、「自分たちが使う場所は、できる限り自分たちの手できれいにする」という意識を持ってもらいたいと考えたからです。御家庭のご都合もあったと思いますが、保護者は 187 人という大変高い出席率で、高学年の児童以外に低学年、中学年の児童もたくさん参加してくれたことにびっくりしました。早朝 6 時半から約 1 時間、校庭や花壇、校舎周りなどの除草作業や側溝の泥上げ、枝打ちなどをしていただきました。運動会に向けて、見違えるほど美しい環境になりました。本当にありがとうございました。その後に行われた「体育着のバザー」も盛況で、あっという間に大半の体育着が買われていきました。助け合いや資源の有効活用のためにも継続していきたい活動です。（売り上げは 7,800 円）前日からの準備や当日の運営をしていただいた生活環境部の皆さん、お疲れ様でした。

